

汽車時間表

行北	行南
...	...



廣東戰亂と邦人保護

李烈鈞軍は廣東省城を占領し、邦人保護を怠る。邦人保護委員会は、李軍の暴行を非難し、邦人保護を怠る。邦人保護委員会は、李軍の暴行を非難し、邦人保護を怠る。

國會開院式八月一日

二十八日附院議院開院式は八月一日午前九時舉行。議院開院式は八月一日午前九時舉行。議院開院式は八月一日午前九時舉行。

米支借款見合説

米支借款は支那銀行と米支銀行とで交渉中。米支借款は支那銀行と米支銀行とで交渉中。米支借款は支那銀行と米支銀行とで交渉中。

包圍せんと威脅す

露軍はモスクワを包圍せんと威脅す。露軍はモスクワを包圍せんと威脅す。露軍はモスクワを包圍せんと威脅す。

露軍スロニエウカ河を渡る

露軍はスロニエウカ河を渡る。露軍はスロニエウカ河を渡る。露軍はスロニエウカ河を渡る。

郵政規則改正

郵政規則は改正。郵政規則は改正。郵政規則は改正。

重石輸出制限

重石輸出は制限。重石輸出は制限。重石輸出は制限。

平子松侯訪問

平子松侯は訪問。平子松侯は訪問。平子松侯は訪問。

持地土木局長持地土木局長

持地土木局長は持地土木局長。持地土木局長は持地土木局長。持地土木局長は持地土木局長。

政務總監監餐宴

政務總監は監餐宴。政務總監は監餐宴。政務總監は監餐宴。

男總督府訪問

男總督府は訪問。男總督府は訪問。男總督府は訪問。

刊夕日九廿

本報は九月九日刊。本報は九月九日刊。本報は九月九日刊。

株主を無視したる

株主を無視したる。株主を無視したる。株主を無視したる。

御苑前復線通車

御苑前復線は通車。御苑前復線は通車。御苑前復線は通車。

漢江鐵橋工事

漢江鐵橋は工事。漢江鐵橋は工事。漢江鐵橋は工事。

十二郡定工事

十二郡は定工事。十二郡は定工事。十二郡は定工事。

實業教員講習

實業教員は講習。實業教員は講習。實業教員は講習。

仁川商議評議員會

仁川商議評議員會は仁川商議評議員會。仁川商議評議員會は仁川商議評議員會。仁川商議評議員會は仁川商議評議員會。

工業の状況

工業の状況は工業の状況。工業の状況は工業の状況。工業の状況は工業の状況。

京畿工業調査

京畿工業は調査。京畿工業は調査。京畿工業は調査。

乳用牛亦減少

乳用牛は亦減少。乳用牛は亦減少。乳用牛は亦減少。

牛乳搾取減少

牛乳搾取は減少。牛乳搾取は減少。牛乳搾取は減少。

北鮮と電氣業

北鮮と電氣業は北鮮と電氣業。北鮮と電氣業は北鮮と電氣業。北鮮と電氣業は北鮮と電氣業。

石井氏入京

邱大

山釜

州光

入札賣却廣告

安東酒房

伊藤賣古堂

御土產物

人參ヤラメルを常に

夏物冬の物

電氣扇電氣扇

可許府督總鮮朝

人參直引大販賣所

津村兄弟商會

廣古北

阿部藥房

子子子

子子子

子子子

子子子

子子子

子子子

子子子

モリソン博士

博士は五十を少し越したる、袁世凱が死んで支那の將來に大

りするは古い書物しよぶつの方が面白おもしろい、自分じぶんは

せられたる他の一方の極東に於ける
特殊利益と云ふ文句がある、特殊利
益の版だ、コンプスが亞米利加發見
の行々持て上るを主つて目し

に此本があらうとは思はれぬ、自分

◇英人が日本に對して好意を襲ふ

過般商陽警察署の手に捕はれたる捕
下同李基榮方同居韓貞純(東原)三

[illegible]

慶南銀行は關係なし

初め仁旺山に越き内益洞井永負の妻
家宅搜索を受けたる山なるも事

所品の豐ほう難なん
 本ほん参さん寺じ同どう

嚴重な爲めでもあらうが例年に比し
三截丸に乘組みて現場に至り大

これ御覽なさい斯んなに右の

日寒さを凌ぐより一日も行きません、火夫は大抵何處のでも十五分間交代になります大きな

ますから休息時間が長いですが

[illegible]

スタンザ來電に曰く五六千の婦
 子へたり君府には目下虎疫

● 十二 突殺さる 京葉道金舖
● 又も嬰兒殺し 全南監光
米屋、風呂屋、燗貨屋、草

生來の浮氣性にて昨年舊二月頃娘を出したお店の無いところへいと言つてもいい位だ、そ

銀貨商金銀 王屋男乙成(一)は桂
當の資産ありて商業に従事し居れる
間長安山南部中腹の一部に突出した
▽過日來の霖雨に

いさうである、霞響張りの
に涼しさうな氷屋は本町三

押し廻り合鍵を盗み出して金庫を開
 郎方の表道路路に裸體となり居た
 一時、環境警察署に同行し保

氷、氷、氷

ては勿怪の幸ひどもいふものだらう
三十一午後七時を期し厄年生れの

車が二十臺宛出るので五千貫の氷
官邸では工藤土地開発局副理事長

(二) 等外人一名

大正 銷

子屋の無
民衆生ずるを命に世に謀り歌に詠む
此代一片の革命史

王△紙明日登新亭樓陽△有郵一遠中家
連中總員△人情頓極身圖制△等世笑話胡
王命歷二方△登雲台後果亦關三控亭

延を投げ

ロセツトの山岳
利ミラノ台計特作品
事大活劇愛の傳令
全三巻

仁川鑛工所
電話二三八番

日にて効驗顯はれ一週間にて輕
價一瓶八日分金六十錢

今田鑛業所

仁川清岸町三丁目角

晴

[illegible]

○曹洞宗別院(若草町) 三十日午の九時

[illegible]

△會いろく▽

○京成鐵道會合 三十日午後八時半より、
市二丁目メザサト會館にて「實録」より讀
み、「新報」を編輯する氏
飲酒し終る。

○救世軍の集會 二十九日午後八時半よ
り、本町御行支店前にて「見守て信する者
字にあり」と題した、三十日午後四時十分
に井田町二丁目井内にて「英帝冠」の御開
演し、大盛況。

○野榮浦焼 〆ヤチ字の
古きで、歐州に卸しかつた

二 まで卅五里二十七町△義

金剛山を背景とした繪の様な港
江原道長景小學校長安川民之弼先生談
○報費の滞、白い障子、鮮紅に二十三月に過ぎなかつた東海岸の眺めは四季を通じて恰のやうです
○殊に金剛山萬二千嶺を背景として寫しと留めたる一帯の訓詁がありますまゝ京城基督教會館南支會刊 毎日午十時

客省長前から上陸して居る者から港から海井里までは約二里ばかりの道で昨も昨日に通じました
○また長箭名物の捕鯨船が毎年秋頃から晩春の間までは毎年初秋から晩春の間までは頭までつきますが昨年のは十月から本年の四月までの六十五里八町に達南浦の七十九里一町へ次ぎは元山まで六十里二丁十町に成北清津港は百四十里五町

つた蕨津の岬には角輪組

小學校に居ますが私の赴任
 當時は長崎港の金戸數僅か
 ◇昨今金剛山行きの觀光
 ◇それに海上の魚釣りは大
 つて居ます

第一百十四回
桃川如燕口演
浪上義三郎速記

て宮本武蔵は細川越中守に仕へ頼
め、地餘千五百石頂戴して御衛指帶番を
相勤める。太守の角満足は申すに及
ばず其國監物も密にて居ります後
に武蔵から父宮本伊織の許へ書面を以
て愛顧の語をいしましたらから
伊織から君侯へ言上いたし、茲で表
面は其儘にして置いて密では折々の
消息も申交はし、翌年武蔵出陣いた
しました時伊織も出陣して居て久々
で會ひたし弟生織妻の八重にも別
れを告げ、

暮る人ではない、吉原あたりではよく
通じて持参された細川の宮本が宮
本の細川かと言はれた後、駕に門
が四五百人に上り、大した諍解
がある、尤も細川の家中には皆な人
かりございしました、江戸家老の澤村
お八郎などといふ人は大通人にて、
原の陣奉行司甚左衛門などゝ懇
にして諍解の名もあつた人だ、併
亦武に於ても仲々人に劣るやうな



靴草著荷 靴川として名聲噴々たるセンチ

之は父子兄弟、大妻の人情、さて密かにて右近將監獄へもお目通りをいたしましたたが其後妻の八重を瀬川にの邸内の武藏の宅へ引取りまして夫婦はまじく暮し、宮本伊織は其内陸に居して武藏の弟左衛門が相續いたしまして三千石の主となり、兄武藏も親しく往來して居るのは申すまでもなく

糸子の女中も頼きおしむけの人生ごさいます、武藏も江戸に於いて變らち劍術の指南番を勤め御奉公で居りましたが寛永十二年の春家に於て親しくいたす並木源左衛門山田三之丞、西村庄助の三人が訪まして源宮本先生御宅で在つてやうか、宮ノイハ誰かかと思ひました

並木氏山田氏、西村氏のお三方

鮮盆の眞當 眞當の眞當

[illegible]

爲

[illegible]

圓五十錢

[illegible]

米界の前途や中根低

[illegible]

したるも依然賣諍
散會を告げたり市況
災朝の十月限あり仁川米
なる多であるが却亂

[illegible]

年の最高値
七月限 二萬千二百
八月限 二萬千二百

[illegible]

值段十二圓

[illegible]

恒々強材料

[illegible]

錢を發表した

[illegible]

中根は正に實力一

[illegible]

く發會せんとする大天
あり仁川米界は前途
るが却斷も今後の成行

[illegible]

萬千二百五十石

押の足跡多く頼らん
 此に出するなりん
 介の勢依然として
 續つて買物と相俟
 居るの何れは新田
 買物勃するに非ざ

九月限 三萬七千六百石
 二十八日後場 前日と比較比
 五五七二五六
 六六六六六六
 四四四四四四

地方法院の公判に附せらる

渡邊默解

[illegible][illegible]

意を説きせるに非らずや今一度法師
なる頭にて再讀し然して佛神兒エ
ス生附兄の好意を謝すべし鶴のまね
する鳥をまねて人のまねする（まね
師士）△速読師子意他コザ△品
の役者々たるは誠に痛疾に不堪
なり今此例を製げんに空家となりし

立憲、大店になるまで、十段東市街閉鎖
文章俱樂部(第一號) 風俗の清きを文
「文藝」に文壇の中心を執る者、本間久松
論文が、その中心の地位に在るべし」
「其社會主義、實業主義の尤新論議」
財政經濟部議決八月號 津浦鐵道本多精
一氏、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の首相なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の二周年なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の三周年なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の四周年なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の五周年なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の六周年なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の七周年なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の八周年なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の九周年なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精
の十周年なる者、其論、津浦鐵道本多精、津浦鐵道本多精

夏期講習會員募集

諸君 自愛せよ

健康と元氣を保つに
總ての要素を具備せる

森永
ミルク
キヤラメル

煙草
代用

市ケツト用大・小・五錢
ニシキヤラメル

二七七ノル

御土產物

内池土產は本町電氣會社前の伊藤藥店、
重信商店のヒスイ、及高麗竈を主
持下、其價格は格く低廉なり。

木町二電氣會社前(電話九四四番)
骨董商 伊藤實古堂

新刊書御案内

●西村振興と産業組合會報一九
●中野實徳淺波沙土物語(木町一
●海國銀行附土物金銀附持三六
●佛國國民の理想と行動(木町一
●彼が作 戦(木町一
●經濟中流生活法 漫筆(木町一
●戰後文明の研究(海老名實正
●中野白科實典(海老名實正)

五

止痢下



旅行にヘルプ

▲旅行にヘルプ携帯 ▲船中下痢起 ▲汽船中腹痛
▲旅行に食傷し時 ▲途中、醫者無く ▲安心し手當出来

性菌殺



下痢にヘルプ


●下痢病は多く、不消化と細菌作用より起る、故に下痢止薬は消化と殺菌力の絶大なるヘルプを用ゆるが最も安全也

常用品なり

即 詳 せ たい

大 阪 製 藥 株式 會 社

[illegible]




美味ヲ以テ好評アル

林檎と梨

朝鮮鳥致院
弘益殖産株式會社農場

振替 京城一〇番
電話 鳥致院 六番



[illegible]

湯上りに日本一の衛生御うち粉

赤ウチワ

せ知る

して氣持よき皆様の必要品

●全國到る處に取次店あり

外	出	價	定	
各	三	十	七	六
種	匁	匁	匁	匁

野上京東

助多田德

番一六五四番振

門司	立神丸	大阪行	日役五時出帆
元山	神樂丸	鹿兒行	日役十時出帆
門司	小倉丸	大坂行	日役五時出帆
元山	廣瀨丸	浦羅行	日役十時出帆
小倉	三浦丸	津浦行	日役六時出帆
元山	第三津丸	津浦行	日役六時出帆
門司	第四津丸	大坂行	日役六時出帆
住須崎	常盤丸	豐多行	午後十時出帆
○天眞丸	每月廿一日廿六日	時出帆	

釜山船塢新設
本館經理啟

大池田 瀧部

[illegible]